



議会だより

2017年6月14日 発行
京 極 町 議 会

編 集
議会だより編集委員会

北海道虻田郡京極町字京極527番地
TEL 0136 (42) 2111
郵便番号 044-0101



ふきだし公園の春

おもな内容 ～第1回定例会～

第1回定例会	2～7 P
議会日誌	2～5 P
一般質問	8～10 P
編集後記	10 P

第158号

平成29年

平成29年 第1回定例会

審議された議案と結果

平成29年度各会計予算が決まる！

一般会計 37億399万3千円
特別会計 7億5,474万7千円
総額 44億5,874万円

(前年対比3億7,929万1千円、7.8%減)

平成29年第1回定例会は去る3月9日に招集され、会期を9日間と定めたあと、諸般の報告、行政報告、監査報告があり、続いて、条例の改正3件、条例の制定1件、補正予算3件の審議をした後、山崎町長より平成29年度町政執行方針、高橋教育長より教育行政執行方針が述べられ、その後、総括質疑、平成29年度各会計予算6件、条例の改正2件、その他議案1件、報告1件、意見書1件の審議をし、16日閉会しました。

なお、新年度予算6件は全議員構成による予算特別委員会（小柳光義委員長、村上敦副委員長）へ審査を付託、会期内の13日・14日に審査が行われました。
町政執行方針並びに教育行政執

行方針に対しまして、予算案審議の前に総括質疑が行われ、小柳議員、菊地議員、四宮議員、村上議員、鈴木議員、中村議員、渡邊議員の7氏から質疑がありました。主な質問を掲載します。

総括質疑とは？

町長及び教育長から提案された執行方針に対し、疑問や不明確な点を問う発言を言います。

質問 小柳議員

基本姿勢と主要施策について、住んでいる方々の満足度を上げる政策を実施することにより、人口減少対策、地方創生に繋がっていくものと書かれています。昨年はどうだったのでしょうか。

回答 町長

冬の除雪体制など、生活上不便だというものについて取り組んできています。住んでいる人が満足しなければ、ほかから来る人もないだろうという考え方です。

質問 小柳議員

産業の振興について、プレミアム商品券は商店の活性化に結びつけるのか、それを買う町民の方の活性化になるのか、または両方なのか、お伺いします。

回答 町長

一番は商工の振興という部分で、商店の皆さん方に少しでも利益を上げていただければと考えて取り組んでいます。

議会日誌

13 2月 日 ようてい森林組合製材工場竣工式 議員多数出席

羊蹄山麓町村議会正副議長会・羊蹄山麓町村長会議研修会及び懇話会（倶知安町） 正副議長出席

16 14日 日 水の調査特別委員会 後志町村議会議長会定期総会並びに行政懇談会（札幌市） 議長出席

19 日 冬季町民レクリエーションのつどい 議長出席

25 日 南京極小学校閉校式 議員全員出席

26 日 町内除雪ボランティア 議員多数出席

27 日 第11回村田のりとし新春の集い（壮瞥町） 議長出席

3 1 3月 日 水の調査特別委員会 議長出席

4 日 産業建設並びに総務合同常任委員会 議長出席

6 日 羊蹄山麓広域景観・活性化フォーラム（倶知安町） 議長出席

6 日 議会運営委員会 議長出席

13 9 14 16 日 日 大学生との町づくり勉強会（きょうごくプロジェクト）意見交換会 議員多数出席

13 9 14 16 日 日 平成29年第1回定例会 予算特別委員会

質問 小柳議員

子育て対策について、学童が今年からまた広くなるということで、これはどこの場所に拡張され、いつから使われるようになるかお伺いします。

回答 町長

児童室と、隣の老人室の仕切りを取って1つにし、途中をアコイデオンにして60人ほどのスペースを確保しておきたいと考えています。工事の期間があるので、いつからというところまではまだ詰まっています。

質問 小柳議員

今後、交通プロジェクトを達成していくのはデマンドバスだと書かれています。京極のハイヤー会社との整合性を取って考えているのかお聞きします。

回答 町長

色々な角度から検討し、一定程度の方向性は出ました。委託先などは、これからの作業で詰めていきたいです。ハイヤー会社については、十分協議をして進めていく形になるかと思っています。

質問 菊地議員

「信頼される学校づくり」について、公務員として不祥事を発生させない職場環境を保持していくための指導に努めていくということですが、具体的にどのような対策を考えているのでしょうか。

回答 教育長

北海道教育委員会の再発防止に基づき各学校に対して再通知を初め、定例の校長、教頭会議等でも厳重に注意をしています。会議の中では、新聞報道の記事を資料として提示したり、校長、教頭から教職員に注意喚起を促していたなど、不祥事が起こらないよう相互監視をする中で学校全体として取り組んでいます。

質問 菊地議員

学校給食費の、第2子以降の給食費無償化の取り組みについてお伺いします。

回答 教育長

今回教育委員会としての予算反映となつていますが、あくまでも町全体の子育て支援策と捉えていただければと思います。

質問 菊地議員

スクールバスの乗り入れ安全対策についてお伺いします。

回答 教育長

校門前の十字路と校舎前庭の縮小とともに動線を確保し、スクールバスが駐車場の中で旋回して運行できるようにと考えています。そうすることにより、交通規制区間に入り込むことなく、学校前にスクールバスの動線を確保して一方方向に進むということから、運転手の視野が広がり安全性を確保できると考えています。

質問 菊地議員

南京極小学校閉校に伴う通学バスの運行についてお伺いします。

回答 教育長

南京極小学校を卒業した中学生が、現在利用しているスクールバスでの通学になると考えています。ただ、今回は登校便のみを3ルートに変更するという計画をし、時間帯も含めて今後保護者の方にも通知していかなければならないと考えています。

17	16	15	13	12	7	6	4	4	29	"	"	24	"	23	22	21	18	17	15
日	日	日	日	日	日	日	日	4月	日	"	"	日	"	日	日	日	日	日	日
京極町地域安全協会設立総会 議長出席	北部方面移動監視隊記念式典（俱知安町） 議長出席	長谷川岳政経セミナー（札幌市） 議長出席	（東京都）期成会中央要望 議長出席	（東京都）為公会と語る夕べ 議長出席	京極中学校入学式 議員多数出席	京極小学校入学式 議長出席	（札幌市・小樽市）期成会道内要望 議長出席	4月	議会だより編集委員会水の調査特別委員会 議長出席	"	"	南京極小学校卒業式 議員全員出席	ふきだし物産株式会社定時株主総会 議長出席	遺族会春季法要 議員多数出席	留寿都村長選出陣式（留寿都村） 議長出席	京極小学校卒業式 議員多数出席	京極小学校卒業式 議員多数出席	共生型地域福祉拠点先行特別内覧会 議員多数出席	京極中学校卒業式 議員多数出席

質問 菊地議員

子育て支援対策は、現在どのようなことを行っているのでしょうか。

回答 町長

特に重点的に取り組んだものとしては、保育料の第2子からの無料化、高校生まで医療費を拡充したこと、さらに今年は学校給食の第2子からの無料化。また、保育園運営の充実や子育て支援センターの充実など、子育ての応援をしていきたいという施策を講じています。

質問 菊地議員

ふきだし公園の維持管理に努めるという割には、それ以外の新規事業が盛り込まれています。それは、どう理解すればいいのでしょうか。

回答 町長

維持管理の部分については予算を計上しているところで、主なものについて書かせていただいたということです。

質問 渡邊議員

農業委員会制度改正後の農業委

員会についてどうお考えでしょうか。

回答 町長

町長が任命したのだから町の考え方でこうやれというものばかりではなく、農業委員会の委員さん方の中で基本的な考え方のもとに話し合いを進めて運営していくことが望ましいと思っています。

新年度予算の詳細につきましては、各戸配付の「今年のまちづくり予算」を参照願います。

◆平成29年度京極町一般会計予算

歳入歳出予算総額
37億399万3千円
(前年対比9・8%、金額で4億196万1千円の減額となりました。)

歳入歳出予算総額
4,821万1千円
(前年対比3・0%の減)

◆平成29年度京極町後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算総額
4,821万1千円
(前年対比3・0%の減)

◆平成29年度京極町国民健康保険事業特別会計

歳入歳出予算総額
1億5,370万3千円
(前年対比7・1%の増)

歳入歳出予算総額
3億2,478万円
(前年対比1・2%の増)

◆平成29年度京極町国民健康保険診療所特別会計

歳入歳出予算総額
1億109万7千円
(前年対比6・6%の増)

歳入歳出予算総額
1億2,695万6千円
(前年対比3・1%の増)

◆平成29年度京極町水道特別会計

歳入歳出予算総額
1億109万7千円
(前年対比6・6%の増)

歳入歳出予算総額
1億2,695万6千円
(前年対比3・1%の増)

◆平成29年度京極町下水道特別会計

歳入歳出予算総額
1億2,695万6千円
(前年対比3・1%の増)

歳入歳出予算総額
1億2,695万6千円
(前年対比3・1%の増)

承認

◆専決処分した事項の承認について

平成28年度京極町一般会計補正予算(第8回)

20日 ようてい農協20周年記念式典(俱知安町) 議長出席

25日 第20回ようてい農協通常総代会(俱知安町) 議長出席

共和町長選出陣式(共和町) 議長出席

8日 京極八幡神社祭典 議員多数出席

9日 議会改革調査特別委員会 議長出席

13日 後志総合開発期成会定期総会(俱知安町) 議長出席

5月 町内ボランティアの集い 議員多数出席

15日 議会だより編集委員会 議長出席

16日 羊蹄山麓町村議会正副議長会正副議長道外研修(熊本県) 正副議長出席

22日 京極プロジェクト報告会・意見交換会 議長出席



.....承認する 予算の総額に、380万円を追 加し、歳入歳出の総額を44億1、 648万1千円とするものです。	
●主な内容	
Ⅱ歳入Ⅱ	
【地方交付税】	80万円追加
【国庫補助金】	
・社会資本整備総合交付金（家賃 低廉化分）	300万追加
Ⅱ歳出Ⅱ	
【住宅費】	300万円追加
・修繕料	
【社会教育費】	
・文化・芸術、スポーツ大会参加 補助金	80万円追加
条 例	
◆職員給与に関する条例の一部 を改正する条例について	原案可決 配偶者に係る手当額（一万三千 円）を他の扶養親族に係る手当額 と同額（六千五百円）まで減額し、 それにより生じる原資を用いて子 に係る手当額を引き上げるもので す。
◆京極町庁舎建設基金条例の制定 について	原案可決 昭和43年に建設した役場庁舎は、 平成30年で固定資産台帳上の耐用 年数である50年を迎えます。今後、 老朽化等を考慮した庁舎整備を計 画していく必要があることから、 整備に要する経費の財源に充てる ための基金設置条例を制定するも のです。
◆京極町税条例等の一部を改正す る条例について	原案可決 地方税法及び地方交付税法の一 部を改正する法律等の一部を改正 する法律の公布に伴い改正するも のです。
◆京極町総合体育館設置条例の一 部を改正する条例について	原案可決 町外者の個人利用に対して、1 人につき1日1回来館時に百円の 使用料を徴収する改正をするもの です。
◆京極町職員の勤務時間及び休暇 等に関する条例の一部を改正す る条例について	原案可決 地方公務員の育児休業等に関す る法律及びに育児休業、介護休業 等育児又は家族介護を行う労働者 の福祉に関する法律の一部改正に 伴い、育児休業の対象となる子ど もの範囲拡大等の改正をするもの です。
◆京極町職員の育児休業等に関す る条例の一部を改正する条例に ついて	原案可決 地方公務員の育児休業等に関す る法律及びに育児休業、介護休業 等育児又は家族介護を行う労働者 の福祉に関する法律の一部改正に 伴い、育児休業の対象となる子ど もの範囲拡大等の改正をするもの です。
補正予算	
◆平成28年度京極町一般会計補正 予算（第9回）	原案可決 予算現額に、6、790万9千 円を追加し、歳入歳出予算の総額

5	1	6	31		29	26	24
日	日	月	日	日	日	日	日
後志総合開発期成会中 央段階要望運動（東京 都）議長出席 総務・産業建設合同常 任委員会 議会運営委員会	後志総合開発期成会 議長出席 京極町共栄クラブ懇親 会 副議長出席 後志総合開発期成会北 海道段階要望運動 （札幌市）議長出席 交通安全運動に係る街 頭啓発活動 議員多数出席 京極中学校体育大会 議員多数出席		議会改革調査特別委員 会 平成29年度全国町村議 会議長・副議長研修会 （東京都）議長出席				後志総合開発期成会、 新幹線、高速道路小樽 期成会（俱知安町・小 樽市）議長出席 京極町共栄クラブ懇親 会 副議長出席 後志総合開発期成会北 海道段階要望運動 （札幌市）議長出席 交通安全運動に係る街 頭啓発活動 議員多数出席 京極中学校体育大会 議員多数出席

を歳入歳出それぞれ44億8、439万円とするものです。

●主な内容

Ⅱ歳入Ⅱ

【地方交付税】

5、239万2千円追加

【分担金】

・道営農業農村整備事業受益者分担金 1、125万円追加

【国庫負担金】

・障害者自立支援給付費等負担金 284万5千円追加

【道負担金】

・障害者自立支援給付費等負担金 142万2千円追加

Ⅱ歳出Ⅱ

【総務管理費】

・公共施設煙突改修工事 1、377万3千円

・通学定期運賃差額補助金 114万円減額

・胆振線代替バス事業運営費補助金 269万8千円

・町内会集会施設改修補助金 240万円減額

【社会福祉費】

・障がい者介護給付・訓練等給付費 329万円追加

・障がい者自立支援医療給付費

240万円追加

【保健衛生費】

・国民健康保険診療所特別会計繰出金 2、106万8千円追加

【農業費】

・道営農業農村整備事業負担金 2、550万円追加

◆平成28年度京極町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4回)

………原案可決
予算の総額に、522万3千円を追加し、歳入歳出の総額を1億4、981万8千円とするものです。

●主な内容

Ⅱ歳入Ⅱ

【雑入】

・平成27年度後志広域連合国民健康保険負担金返還金 522万3千円追加

Ⅱ歳出Ⅱ

【総務管理費】

・後志広域連合国民健康保険負担金 276万8千円追加

【基金積立金】

・国民健康保険基金積立金 245万5千円追加

◆平成28年度京極町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3回)

………原案可決
年度末の収入額見込みで、不足が生じるため、一般会計から2、106万8千円を繰入するものです。

その他議案

◆後志広域連合規約の変更について

………原案可決
広域連合の処理する事務並びに、広域連合が作成する広域計画の項目のうち、それぞれ、広域化の調査研究に関する事務5項目を削除し、規約の一部を変更するものです。

報告

◆京極町水の調査特別委員会報告

………報告済

委員長 小柳 光義
副委員長 後藤 尚浩
委員 菊地 篤志

平成28年第2回定例議会において水の調査特別委員会が設置され、小柳委員長、後藤副委員長、菊地委員の構成で任命されました。それ以降、コンサルタントの協力を

得ながら、建設課長を交えて5回の委員会を開催し問題点を詳細に、あらゆる角度から検討し整理して別紙報告書(平成29年3月3日提出済)の結果となりました。その中で、第1に大腸菌対策、第2にエキノコックス対策を基本に取水施設の改修を重点項目として考え、ケース1、ケース2、ケース3の3案が検討されました。

ケース1では取水施設に上屋を設置し動物や雨の浸入を防止する案

ケース2では取水施設に蓋を設置し動物や雨の浸入を防止する案
ケース3では取水施設の下流より湧水口源流に水平ボーリングにて取水管を押し込み直接空気に触れる前に取水する案

以上3ケースについて検討した結果、ケース3が現状では最良の方法であるとの結論となりました。理由については深い位置で空気に触れる前に取水するので動物、雨等のエキノコックス対策が取れる。工事は大型重機が必要でなく、工期も短期間で終了し環境に負荷を与えない。また新設される浄水施設にエキノコックス対策スクリーンが不用になる。さらに現状のポリカボネート板が不用になり、

昔の噴き出し湧水がよみがえるの
で観光客にも喜ばれる。以上のこ
とから、この方法で進める事を提
案します。

ただし、現状の取水施設には民
間の施設が隣接しているので工事
協力を要請し、トラブルのないよ
うに努める事が重要でありますの
で早急に協議を進めていただく事
をお願いいたします。

また、エキノコックス対策につ
いては道庁との協議が必要となり
その結果により取水管の一部に上
屋及び蓋等の設置が要求される事
も考えられるので、早急に関係機
関と協議し、新しい浄水施設の設
置、取水施設の改修と計画し町民
への安全・安心な飲料水の供給を
1日も早く実現する事をお願いし
ます。

最後にこの計画が実施されると
きは、ふきだし再開発との関係も
考えて実施されることを強く要望
します。

さらに、当特別委員会は、引き
続き、住民の生活基盤である水の
安心安全供給のために調査研究を
行います。

意見書

◆北海道横断自動車道（黒松内・
小樽間）の効率的・効果的な整
備促進を求める意見書

提出者 議員 小柳 光 義

賛成者 ” 中村 厚 子

” ” 四宮 幸 一

” ” 渡邊 昭

” ” 後藤 尚 浩

高規格幹線道路をはじめとする
道路網の形成は、防災・減災対策、
産業の発展や地域の振興のため、
その必要性は極めて高くなってい
る。

後志地域においては、大規模災
害時における避難ルートの代替路
線の確保が必要不可欠であり、こ
のことは、先の東日本大震災の教
訓からも明らかである。

とりわけ、北海道は、日本全国
の食料基地としての重要な役割を
果たしており、安全で確実な輸送・
移動の実現、また道内有数の観光
エリアである当地域は、国際的に
も注目されていることから「観光
立国の実現」を図ることもまた重
要である。

加えて、医療過疎が進んでいる

現状下において、高度救急医療の
みならず、日常の通院移動時間の
短縮などの喫緊の課題がある。

これらの問題解決のためには、
北海道横断自動車道「黒松内・小
樽間」の整備による高速交通ネッ
トワークが確立され、道央自動車
道との高速環状ルートの形成が必
要であり、「黒松内・余市間」の
整備及び「余市・小樽間」の小樽
ジャンクションのフル規格での整
備は、住民の切実な要望であるこ
とから、次の重要事項について強
く要望する。

記

1 事業着手している「余市・小
樽間」の早期開通と小樽ジャン
クションのフルジャンクション
での整備など当初計画どおりの
整備実現

2 俱知安共和間（俱知安・共和）
の早期着工

3 「黒松内・俱知安間」の調査促
進

平成29年3月9日

北海道虻田郡京極町議会議長

【提出先】

内閣総理大臣、衆議院議長、参議
院議長、国土交通大臣、財務大臣



議会を傍聴してみませんか！

～次回の定例会は9月の予定です～

- 日程が決まりましたら町ホームページ、新聞等でお知
らせいたします。
- 議会を傍聴する方は、議会事務局で
住所、氏名を傍聴受付簿に記入する
だけです。

皆さんの傍聴お待ちしております。



一般質問

高齢者ドライバーの運転免許について



質問 村上 敦議員

質問事項は、社会問題化する高齢者ドライバーによる交通事故が相次ぎ、全国的に注目が集まっています。

悲惨な死亡事故、平成28年10月、神奈川県横浜市で87歳男性が運転する軽トラックが集団登校する小学生の列に突っ込み、小学1年生の男の子1人が死亡し7人が重軽傷。

「事故のことを覚えていない」と高齢者ドライバーは答えたということです。

翌月11月には、東京都立川市で83歳女性が運転する車が病院の駐車場を出る際にアクセルとブレーキを踏み間違え車が急発進し、バ―を折り縁石を乗り越え歩道を歩いていていた30代の男女をはね2人が死亡。

運動能力や判断力の低下、さらには認知症などが原因と言われますが自動車運転免許返納は浸透せず、繰り返される悲劇を防ぐ有効な打開策は見いだせていないのが現状だと思います。

高齢者に家族が車の運転をしないよう説得するのは難しいですし、高齢者にとつては免許返納への抵抗感が強かったりします。

事故を起こすと家族も損害賠償責任を負う可能性があり、被害者だけでなく家族の生活も破壊しかねないことを説明することも、説得材料の一つになるのではないかと私は思う次第です。

警察庁の自動車運転免許統計によりますと、2015年末時点で65歳以上の自動車運転免許保有者は1710万人で、全年代の20・8％。

運転に自信がなくなった人には、自動車運転免許の自主返納を促しているが、2015年に自主返納した65歳以上は27万人で、前年末の自動車運転免許保有者の2・5％に過ぎないということでした。自動車運転免許を返納して真つ先に困るのは返納した後の生活、移動手段だと思います。

ここで、車に代わる公共交通の費用の一部を補助している、新潟市の事業を一部抜粋して申し上げます。

- ① 事業名・・高齢者運転免許証返納サポート。
- ② 目的・・自動車運転免許証を自主的に返納される65歳以上の方を支援します。
運転に不安のある高齢者の方が自動車運転免許証を返納しやすいよう支援事業を実施し、高齢者の方の交通事故防止を図ります。
- ③ 事業開始・・平成22年1月

1日

- ④ タクシー券やバス乗車券、一人1回に限り、1万円分などから選択。

以上のことから、自動車運転免許を返納後、車に代わる公共交通の費用の一部補助制度について、山崎町長の見解を伺います。

答弁 山崎町長

村上議員の一般質問にお答えいたします。

交通事故につきましては、ひとたび事故が発生しますと加害者、被害者双方に大きな被害をもたらすとともに、その家族、関係者にも同様に大きな影響が及びます。幸いにも本町内においては平成16年1月22日以降、死亡交通事故は発生しておりませんが、悲惨な交通事故を一件でもなくすよう、地域・住民一丸となり交通安全に努めていく必要があると存じます。また、公共交通網の縮小、郊外型店舗への買い物や通院などさまざまな要因により、高齢者の運転機会が増えるとともに、高齢者が関係する事故の増加も顕著なこと

から、大きな社会問題となっております。

ここで、参考までに平成28年中の京極町の交通事故の発生状況にふれたいと存じます。

① 人身事故発生件数	2件
(前年比 ±0件)	
うち65歳以上関係	1件
② 死者数	0名
(前年比 ±0名)	
③ 負傷者数	2名
(前年比 ±0名)	
④ 物件事故発生件数	61件
(前年比 17件減)	
うち65歳以上関係	9件

という内容でございます。

ご質問の中にありました、高齢者運転免許証返納に対するサポートについてですが、

直接的なサポートとしては、65歳以上で自主的に運転免許証を返納した場合、町交通安全協会から運転経歴証明書交付手数料として1000円を助成しております。京極町では、28年度から始まり、これまでに3名の方が自主返納をしております。

さらに、免許自主返納を促進し、



動機付けとなるように、例えば、

「返納時に限りバスやタクシー料金を助成する」といった制度も今後検討が必要と考えているところであります。

また、これからは、福祉やまちづくりの視点から、免許所有の有無にかかわらず、高齢者・障がい者等交通弱者に対する移動手段をどのように確保し、それらサービスをどのように有効に組み合わせていくかが、大きな課題となると存じます。

既に行っている、京極温泉へのバスの送迎、障がい者に対するタ

クシー券の交付などのサービスの他に、地域交通の導入、あるいは民間の送迎サービスとの連携により、総合的かつ有効的な移動手段の確保に努めていく必要があると存じます。

さらに車の両輪のごとく大事なものは、免許返納に対する運転者ご本人の理解と決断、そして家族・地域の支えかと存じます。

住民の皆様が安心・安全に暮らし、生き生きと暮らせる町づくりのため、皆様と相談し、実践できるよう努力してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

質問 村上 敦議員

ただ今、山崎町長より自動車運転免許返納後、車に代わる公共交通の費用の一部補助制度についての見解を伺いました。

安心安全な生活環境づくりのための京極町独自の支援事業を展開し、交通事故防止を図れるよう、山崎町長に期待いたします。

さて、関連いたしました、私は平成27年9月、第3回定例会におきまして、高齢化が進んでいる京

極町におきまして、身体に軽微な疾患又は障がいのある方や自動車運転免許を所持していない方、高齢で自動車運転免許返納された方、自家用車を所有していない方、更には公共交通路線外の方々が医療機関への通院、買い物などの日常生活の交通手段対策について、一般質問をさせていただきました。

この件につきまして、山崎町長より前向きな答弁をいただきました。

一部抜粋して申し上げます。

この件については、福祉関係機関により協議会が設置され、問題提起され検討会としては、地域性から巡回型バスよりデマンド型での試行運転などを実施し検証する必要がある。

京極町においても、今後デマンド型バス導入を中心に引き続き検討してまいります。当面の対策として日常生活の利便性及び福祉の向上に努めてまいります。

との答弁でした。

また、平成29年度町政執行方針、更には総括質疑におきまして、簡潔な説明も伺いましたが、少子高齢化が進行する中で、公共交通に求められるニーズも変わりつつあ

り、公共交通の需要の変化に対応した、生活交通体系が求められているのが現実であります。

その後の検討結果について、更に詳しく山崎町長にお伺いいたします。

答弁 山崎町長

平成27年9月の定例会において村上議員から「高齢化社会の日常生活での交通手段対策について」一般質問がございました。

そのときの私からの答弁といたしましては、一部抜粋された内容のとおりで、今後「デマンド型バス導入を中心に引き続き検討してまいります」とお答えしたところです。

ただいま村上議員より、その後の検討結果についてさらに詳しくとの再質問がありましたのでお答えしたいと思います。

平成27年9月以降も、保険・医療・福祉・介護連携協議会の交通検討会を開催し、福祉と医療関係者を構成とするメンバーで話し合いをしてきました。

執行方針のなかでも触れましたが、平成28年8月には、できるだ

け早い時期での実現化を目指すためには、現在の福祉・医療だけのメンバーの他に商工及び自動車運送業や金融関係者など多職種を交えた町全体での仕組みづくりが必要と考え「交通プロジェクト」を立ち上げ検討を重ねてきたところであります。

11月には交通プロジェクトのまとめとして、京極町にとつてどのような運行形態が一番望ましいのかなど一定の方向性として、予約制で玄関先から目的地まで移動する「デマンドバス」を主に考えた方式が示されたところであります。今後においては、運行に係る経費などを試算し、平成29年度中には具現化できるよう、議員の皆様とも協議をしたなかで決定していきたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。

質問 村上 敦 議員

ほんとに京極町に住んでいて良かったと思える、快適で安全な「まちづくり」のために、前向きな検討をされていることに期待いたします。私の質問を終わります。

京極町議会から お願い!!

議長宛の案内などの文書は、必ず議会事務局にお届け願います。



編集後記

町民の皆様には、日頃より議会広報活動に、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

平成29年第1回定例議会において平成29年度の予算が確定しました。

前年度より予算総額が減になつておりますが、昨年に引き続き子供を育てる環境が拡充されました。

厳しい財政状況であります、皆様のご意見をいただき、多くの議論を重ね、よりよい町政を行えるよう、取り組んでまいりますので、今後ともより一層のご指導、ご協力をお願い致します。

夏を迎え、たくさんのお客様が開催されますので、健康には十分気をつけてお過ごし下さい。

(後藤)

議会だより編集委員会
委員長 四宮 幸一
副委員長 鈴木 敏行
委員 村上 尚
後藤 浩